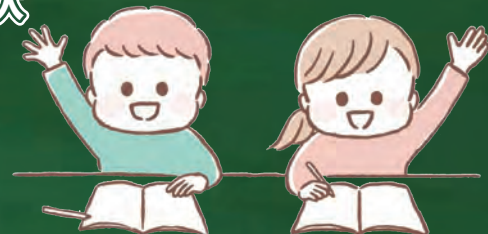


調査結果から見る菊川市の子どもたちの現状 全国学力・学習状況 調査結果のお知らせ



全国学力・学習状況調査(通称：全国学力テスト)は、文部科学省が毎年4月に実施している、全国の小中学校の学力や学習状況を調べるための調査です。小学6年生の全児童と中学3年生の全生徒を対象に行われた令和8年度調査の結果と分析をお知らせします。

問い合わせ 学校教育課学校指導係(中央公民館内 ☎73-1113)

中学生の学力

小学生の学力

国
語

平均正答率
63.0%/63.9%
菊川市 全 国

言葉の意味を理解して、文章中から別の表現を抜き出すことができています。一方で、目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する問題に課題がありました。

話す・聞く	書く	読む	言葉の特徴・使い方	情報の扱い方
●	○	○	○	▲

数
学

平均正答率
55.0%/57.0%
菊川市 全 国

図形の証明における仮定となる辺や角の関係を理解できています。一方で、反比例の関係を表す表の特徴を捉えてxの値に対応するyの値を求める問題に課題がありました。

数と計算	図形	測定	データの活用
●	◎	▲	▲

英
語

IRTスコア※
501 / 499
菊川市 全 国

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができています。一方で、目的に応じて、必要な情報を読み取る問題に課題がありました。

国
語

平均正答率
58.0%/60.9%
菊川市 全 国

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができています。一方で、文章中のひらがなを漢字に書き直す問題に課題がありました。

話す・聞く	書く	読む	言葉の特徴・使い方	情報の扱い方
▲	◎	▲	▲	▲

算
数

平均正答率
55.0%/56.4%
菊川市 全 国

単位量当たりの大きさを求める計算式の意味を理解することができています。一方で、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選択する問題に課題がありました。

数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
●	●	●	○	▲

菊川市の児童・生徒の平均を全国の平均と比較し、◎高い(3～1ポイント高い)、○ほぼ同じ(平均とほぼ同じ)、●低い(1～3ポイント低い)、▲大変低い(3ポイント以上低い)と表しています。

※英語では回答方法が他教科と異なるため、結果がIRTというスコアで算出されます。IRTでは正答や誤答が問題の特性が学力によるものかを分析します。これにより、異なる問題構成の試験や調査結果を共通の尺度で比較できます。